

最終回“ウォーキング倶楽部”

とき: 令和4年11月12日(土)午前9:00開始
ところ: 日和山公園駐車場



【今回の見どころ】

酒田大火の中町商店街を巡る

昭和51年10月29日午後5時40分頃、映画館「グリーンハウス」から出火。風速25mを超える台風並みの強風にあおられた炎は、酒田市一番の繁華街を一夜にして焼き尽くしました。



焼失面積22.5ha, 焼失家屋1,774棟

2 グリーンハウス跡(柳小路)

大火の火元となった映画館「グリーンハウス」昭和23年ダンスホールとして開設し、翌24年洋画専門の映画館として発足。映画評論家の淀川長治氏が「世界一の映画館」と絶賛しました。場所は現在のマリン5清水屋の西口あたりになりますが、今でも酒田市民の思い出として心に残っています。



グリーンハウス跡

死者1人、負傷者1,003人、被災者3,300人



1 中町モール

大火復興計画の目玉で唯一地域の皆さん自らの努力とアイデアで造られたショッピングモールです。モニュメントは「ふれあいの門」と名付けられ、モールの中央にありましたが、屋根が設置されたため現在地に移設されました。



3 中央公園



大火の当時、小さな緑地や社寺などのオープンスペースが避難に役

立ったことから、復興においても公園や並木のある通りが積極的に整備されました。その一環として、商店街の中心に新たに整備されたのが中央公園です。

4 愛宕神社

酒田は火災の多い町でした。愛宕神社は、火伏せ・防火の霊験あらたかなことから勧請されたようです。御神体の勝軍地蔵は奈良朝の名僧行基菩薩の一刀三拝の作と伝えられ、軍の神でもあることから酒井家歴代の藩主から尊崇を受けてきました。拝殿の扉には酒井家の紋が刻まれています。酒田大火では木造鳥居が奇跡的に焼け残りました。



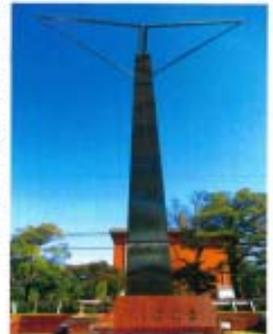
5 十王堂

酒田大火で、辺りが焼土と化した中、たった一つ、ぼつんと残ったお堂です。お堂を中心に十王堂町が出来き、えんま堂とも言われています。焼け焦げた窓の縁が今も残っています。



7 防災の塔 <はばたき>

酒田大火後の昭和54年、大通り緑地公園内に酒田青年会議所の防災活動活動の一環として防災の塔「はばたき」が設置されました。当時は毎日、大火出火時の5時50分に「明日に生きる酒田」が流れました。



9 川流れ地蔵

山王堂町新井田川沿いに通称「川流れ地蔵」と言われている延命地蔵があり、新井田川での死者の供養のために明治時代に建てられました。酒田大火では奇跡的に焼け残りました。



10 燃えなかった本間家

酒田大火で本間家は延焼を免れます。酒田の風はいつも北西から強く吹きます。本間家は土塀が巡らし、西側には土蔵などの耐火建物、その中に樹木を置き、その下に母屋がある構造にあります。先人の火災に対する知恵の深さを痛感します。



【資料: まち歩きタウン誌「酒田プラン」より】